

令和6年度幼稚園等中堅教諭資質向上研修実施要項

このことについては、総合教育センターウェブページ上の「幼稚園等中堅教諭資質向上研修の手引」に基づき、研修の日程や内容についての詳細は、下記のとおりとする。

記

1 主催

愛知県教育委員会、愛知県総合教育センター

2 期日

令和6年7月25日(木)、7月30日(火)、8月20日(火)

3 会場

愛知県総合教育センター大講義室等

愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

4 研修内容及び日程

別紙1のとおり

5 参加者

公立幼稚園・幼稚園型認定こども園 7名

公立幼保連携型認定こども園 5名

私立幼稚園・幼稚園型認定こども園 27名

私立幼保連携型認定こども園 0名

合計 39名

(参加者名簿・・・別紙2参照) →送付済み

6 旅費等

(1) 旅費については、各市町、園等において職員等の旅費支給規程に基づき支給する。

(2) 来所の際は、できる限り公共交通機関を利用する。

7 欠席等の手続き並びに特別警報、暴風警報発表時及び地震等における研修事業の取り扱い

総合教育センターウェブページ掲載の「令和6年度研修事業案内」6ページから7ページ「◆受講に当たっての留意事項」を参照する。

8 eラーニング教材について

この研修は、一部をeラーニングによって実施する。受講に際しては、総合教育センターウェブページ掲載の「令和6年度研修事業案内」82ページから89ページ「V eラーニング研修の実施について」を参照するとともに、以下の点に留意する。

(1) 学習する教材及び学習期間

回	教材名	学習期間
1	「中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって」	令和6年5月28日(火)から
	◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」	令和6年6月28日(金)まで
2	「人権教育について(リーダー編)」	令和6年8月20日(火)から 令和7年1月10日(金)まで
	「ESDについて」	
	「学校安全の推進」	
	「発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～」	

◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」は令和6年8月20日(火)から令和7年1月10日(金)まで再度学習できる。

(2) ユーザID及びパスワード

公立園は、別紙3「eラーニング研修受講に当たってのIDについて」を参照し、入力する。

私立園は、別に園へ送付される、令和6年5月16日付け6総教セ号外「令和6年度幼稚園等中堅教諭資質向上研修の研修者情報について」(通知)を参照し、入力する。

(3) 受講方法について

別紙4「愛知県総合教育センターeラーニング研修の受講方法について」を参照し、受講する。
→送付済み

9 提出物について

(1) 研修の課題

別紙5～6を確認する

(2) 幼稚園等中堅教諭資質向上研修実施報告書(様式3)、特定課題研究報告書(様式4)実施報告書(様式3)

提出元		提出先	部数	提出期日
公立幼稚園(幼型を含む) 公私立幼保連携型認定こども園	→	市町教育委員会または 市町長部局	3	令和7年2月 3日(月)
市町教育委員会または 市町長部局 私立幼稚園(幼型を含む)	→	各教育事務所または 福祉局 県民文化局	2	令和7年2月12日(水)
各教育事務所または 福祉局 県民文化局	→	総合教育センター	1	令和7年2月20日(木)

特定課題研究報告書(様式4)

提出元		提出先	部数	提出期日
公立幼稚園(幼型を含む) 公私立幼保連携型認定こども園	→	市町教育委員会または 市町長部局	1	令和7年2月 3日(月)
市町教育委員会または 市町長部局 私立幼稚園(幼型を含む)	→	各教育事務所または 福祉局 県民文化局	1	令和7年2月12日(水)
各教育事務所または 福祉局 県民文化局	→	総合教育センター	1	令和7年2月20日(木)

*様式3・4は、「幼稚園等中堅教諭資質向上研修の手引」の17ページから19ページを参照する。

提出書類送付先

〒470-0151

愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部基本研修室 宛て

※封筒の表左隅に、

「幼稚園等中堅教諭資質向上研修 悩みを抱えた保護者との関わり課題在中」

「幼稚園等中堅教諭資質向上研修 選択研修 ①協同性を育てる保育課題在中」

「幼稚園等中堅教諭資質向上研修 選択研修 ②思考力の基礎を培う保育課題在中」

と朱書きする。

料金不足とならないよう留意する。	切手	幼稚園等中堅教諭資質向上研修 (課題名○○○)在中 受講番号(○○○○○○○○○)	〒470-0151 愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地 研修部基本研修室 宛て
枠の中は、必ず朱書きする。			
提出期限厳守			

10 その他

- (1) 研修の受講に当たって、支援や配慮等の必要があれば、下記担当まで御相談ください。
- (2) 事前課題については別紙5のとおりです。
- (3) 課題様式については別紙6を参照してください。
- (4) 総合教育センターは敷地内全面禁煙です。御理解と御協力をお願いします。
- (5) 研修の実施方法に関わらず、研修の受講にふさわしい服装で参加してください。
- (6) さわやかエコスタイルキャンペーン実施中です。

別紙1 <研修内容及び日程>

【総合教育センターにおける園外研修】

期日	時間	研修内容<会場>
第1日 7月25日 (木)	9:00～ 9:30	受付<総合教育センター大講義室前>
	9:30～ 9:40	オリエンテーション<大講義室>
	9:40～11:50	【講義・協議：幼児教育の現状と課題】 【講義・協議：中堅教員に求められる専門性】<大講義室> 講師 義務教育課主査
	11:50～12:10	【講義：教員の服務】<大講義室> 講師 義務教育課主査
	12:10～13:10	休憩
	13:10～16:00	【講義・演習：教育課程等と指導計画】<大講義室> 総合教育センター主査
	16:00～16:30	研修の振り返り、諸連絡
第2日 7月30日 (火)	9:00～ 9:30	受付<総合教育センター視聴覚教室前>
	9:30～ 9:40	オリエンテーション<視聴覚教室>
	9:40～12:00	【講義：カウンセリングマインドを生かした子ども、保護者との関わり】 【演習・協議：悩みを抱えた保護者との関わり】<視聴覚教室> 講師 元公立こども園園長
	12:00～13:00	休憩
	13:00～16:00	【講義・協議①：協同性を育てる保育】<視聴覚教室> 講師 公立幼稚園長
【講義・協議②：思考力の基礎を培う保育】<第1情報実習室> 講師 公立幼稚園長		
16:00～16:30	研修の振り返り、諸連絡	
第3日 8月20日 (火)	9:00～ 9:30	受付<総合教育センター大講義室前>
	9:30～ 9:40	オリエンテーション<大講義室>
	9:40～11:40	【講義・演習：幼小の円滑な接続】<大講義室> 講師 義務教育課幼児教育コーディネーター
	11:40～12:40	休憩
	12:40～14:20	【講義・協議：特別な配慮を必要とする幼児への指導】<大講義室> 講師 公立幼稚園長
	14:30～16:00	【講義・実習：環境の構成と教材の工夫】<大講義室> 講師 公立こども園長
	16:00～16:30	研修の振り返り、諸連絡

【異校種等体験研修】

日数	研修内容
1日	幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、保育所、認定こども園、保育所・幼保連携型認定こども園以外の児童福祉施設（乳児院 児童厚生施設 児童養護施設 障害児入所施設 児童発達支援センター 児童家庭支援センター）、保健センターのいずれかで1日間の研修を実施

総合教育センターウェブサイト「異校種等研修受け入れ校一覧」を基に、申し込みを行う。ただし、幼稚園、保育所、こども園については、「受け入れ一覧」はないため、各自で探して申し込む。申し込み先の受け入れ可否に従うこと。

【幼稚園における園内研修】

日数	期間	研修名	研修内容
7日～ 10日	4月～2月	園内研修	保育指導、幼児理解など園内研修計画に基づく研修
		特定課題研究	得意分野の研究を深め、更に発展、充実させ伸ばす研究
		園内発表会	特定課題研究の成果を園内で発表

別紙5

連絡事項（課題等）

<p>連絡事項 (課題等)</p>	<p>第1日 7月25日 (木)</p>	<p>【持ち物について】</p> <p>幼稚園教育の現状と課題、中堅教員に求められる専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領解説または幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、保育所保育指針解説のいずれか、各園で使用しているもの。 <p>教育課程等と指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領解説または幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説。 教育課程または教育及び保育の内容並びに子育て支援等に関する全体的な計画 7月第2週（7/8～7/12）の指導計画6部…協議資料として交換する。 ※個人情報の保護に配慮し、園名・担任名・幼児名等を分らないようにする。 ※学級担任は担当する学年のものを持参する。主任やフリーの立場である保育者は、自分が学びたい学年のものを、各自で作成し、持参する。 ※基本は今年度のものを持参するが、今年度のものが難しければ、各自で作成したものであれば以前の指導計画案（7月第1週）でも可とする。 <p>悩みを抱えた保護者との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2日7月30日（火）「悩みを抱えた保護者との関わり」の課題レポート39部 <p>選択研修 ①協同性を育てる保育 ②思考力の基礎を培う保育</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自選択した研修の課題（①協同性21部、②思考力18部）
	<p>第2日 7月30日 (火)</p>	<p>【課題及び提出について】</p> <p>悩みを抱えた保護者との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出課題 「悩みを抱えた保護者との関わり」 課題様式 課題様式1 提出期限 令和6年7月3日（水）必着 提出方法 郵送 3部（7月25日（木）持参 39部） <p>選択研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出課題 <ul style="list-style-type: none"> ①「協同性を育てる保育のテーマに沿った遊びの場面の保育実践」 ②「思考力の基礎を培う保育のテーマに沿った遊びの場面の保育実践」 課題様式 課題様式2 形式は自由。A4判1枚にまとめる。 提出期限 令和6年7月3日（水）必着 提出方法 郵送 3部（7月25日（木）持参 ①協同性21部、②思考力18部）
	<p>第3日 8月20日 (火)</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 後日連絡する。

別紙6 課題様式（記入例）

課題様式1

令和6年度幼稚園等中堅教諭資質向上研修

研修者No.を記入

受講者No.	1	7	0	0	1	0			
テーマ	「悩みを抱えた保護者との関わり」								
<p><u>令和6年7月30日（火） 第2回研修で使用するレポートを作成する</u> 気になる子ども、保護者について、「なぜ」「何が」気になるのか、自分の保育を分析し、簡潔にまとめる。</p> <p>【レポートの記述内容】 以下の1から3を視点に分析してまとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの保育を振り返り、子どもや保護者との関わりの中で、互いの思いにずれが生じたり、意思の疎通が難しいと感じたりしたこと。 2. 1に対して、なぜそのように感じたか。 3. そのときに自分がしたこと、するとよかったこと。 									
<p>「個人情報保護」の観点から、個人が特定できるような記述はしない。 ・幼児は「A」「B」のようにアルファベット順に表記する。 ・性差の区別はしない。</p>									

- (注)・研修者No.は、公立園は別紙2参加者名簿、私立園は別に送付する研修者情報を参照する。
 ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる場合は両面印刷とする）。
 ・字の大きさは、10.5ポイント。
 ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

課題様式2

令和6年度幼稚園等中堅教諭資質向上研修

研修者No.を記入

受講者No.	1	7	0	0	1	0			
テーマ	「協同性を育てる保育」または「思考力の基礎を培う保育」								
<p><u>令和6年7月30日（火） 第2回研修で使用するレポートを作成する</u> 【レポート作成のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象児（学年、人数等）をはじめに書く。 2. 幼児の姿（年齢、時期）・ねらいを書く。 3. 遊びの場面等保育実践は具体的なもので、子どもの表情や動き、つぶやきや会話などを捉える。 4. どのように環境を構成したか、なぜそのように援助をしたかなどを具体的に記述する。 5. 考察は、どういったことが思考力の芽生えにつながるのか、どういったことが協同性を育てるのか、一般的なことではなく、自分の事例から捉えたことを記入する。思考力の芽生えや協同性を育むことにつながる環境構成や保育者の援助も記入できるとよい。<u>保育者の援助、思いの部分に下線を引く。</u> 									
<p>「個人情報保護」の観点から、個人が特定できるような記述はしない。 ・幼児は「A」「B」のようにアルファベット順に表記する。 ・性差の区別はしない。</p>									

- (注)・研修者No.は、公立園は別紙2参加者名簿、私立園は別に送付する研修者情報を参照する。
 ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる場合は両面印刷とする）。
 ・字の大きさは、10.5ポイント。
 ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。